

関東地方整備局における総合評価方式の現状と取り組みについて

国土交通省関東地方整備局 企画部
技術調査課長 望月美知秋

1. はじめに

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（平成17年法律第18号。以下「法」という。）が平成17年3月に成立、4月より施行された。

法では、公共工事の品質は、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならないと規定されている。

関東地方整備局においても、昨年9月28日に学識経験者を委員とする「総合評価審査委員会」を開催し、平成17年度版の関東地方整備局における総合評価ガイドラインを作成し、標準型、簡易型について積極的な拡大を図ってきたところである。平成17年度実施した総合評価の概要及び平成18年度に向けた主な改定案について紹介する。

2. 平成17年度総合評価実施状況

総合評価の実施件数は、「表-1」のとおり、前年度の約6.9倍の277件を実施した。総合評価のタイプ及び加算点の実施件数については「表-2」のとおり、簡易型が約75%で最も多い、又、品確法の14条に該当する「高度技術提案型」についても1件ではあるが実施を行った。

技術力を評価する「加算点」については、10点を満点とした件数が約75%の204件で、逆転（1番札以外が落札）は21件

表-1 総合評価方式の実施状況（H15～H17年度）

H17年度の総合評価方式は、H16年度に比較して件数比率で約6.9倍実施。

区分	H15実績	H16実績	H17実績
対象件数	381	370	632
総合評価件数	62	40	277
対象件数比率	21.5%	10.8%	43.8%
金額比率	14.2%	9.5%	35.4%
逆転件数	0	1	21

注) □対象件数は公共工事発注型、通常発注型、積算契約を除く
□落札者決定型を含む実績

表-2 平成17年度 総合評価方式の実施状況

総合評価方式の実施タイプでは、簡易型が約74%となっている。また、逆転数も、加算点が20点以上の工事で多くなっている。

○全体件数(総合評価タイプ-加算点別)						○逆転件数(総合評価タイプ-加算点別)					
発注形態	加算点	件数	比率	金額	金額比率	発注形態	加算点	件数	比率	金額	金額比率
発注形態	加算点	件数	比率	金額	金額比率	発注形態	加算点	件数	比率	金額	金額比率
標準型	0	6	2.2%	1	0.3%	標準型	0	1	0.4%	0	0%
簡易型	0	11	3.9%	2	0.7%	簡易型	0	1	0.4%	0	0%
標準型	10	14	5.1%	3	1.1%	標準型	10	1	0.4%	0	0%
簡易型	10	20	7.2%	4	1.4%	簡易型	10	1	0.4%	0	0%
高度技術提案型	10	1	0.4%	0	0%	高度技術提案型	10	1	0.4%	0	0%
合計		277	100%	63	23%	合計		21	7.6%	0	0%

(7.7%)の結果であった。

また、工種別では一般土木が112件（総合評価の約40%）と最も多く、昨年談合事件があった「鋼橋上部工」においては、工事規模に関係なく一般競争に拡大したことから、件数比率で約80%の実施を行った。

3. 総合評価小委員会での主な意見

関東地方整備局では“品確法基本方針第2の4 中立的かつ公正な審査・評価の確保に関する事項”に記載された「国においては、総合評価方式の実施方針及び複数の工事に共通する評価方法を定めるようとするときは、学識経験者の意見を聴くとともに、必要に応じ個別工事の評価方法、落札者決定

表-3 平成17年度総合評価小委員会における主な意見

(学識経験者による審議 標準型61件 延べ8日間開催)

- 削減された工費(減資)は、
- 競争参加型の施工現場の品質向上や職員の確保等の取組を併進する観点から、工費削減は、
- 削減された工費のうち、削減された工費で対応する。削減された工費のうち、削減された工費で対応する。
- 削減された工費のうち、削減された工費で対応する。

平成17年度総合評価方式フォローアップアンケート(採札者)の主な意見

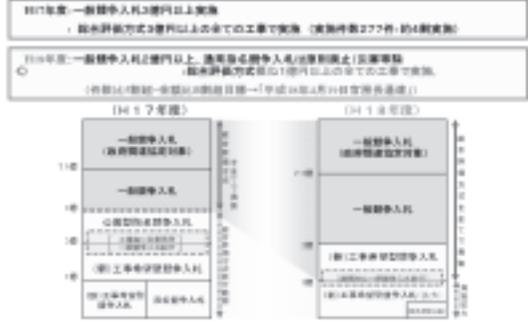
● 企業の経営方針が異なるため、評価が厳しく、コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。

● 企業の見積り内容が異なるため、評価が厳しく、コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。

● 企業の見積り内容が異なるため、評価が厳しく、コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。

● 企業の見積り内容が異なるため、評価が厳しく、コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。コスト削減が難しい。

表-4 平成18年度入札契約方式の運用方針



についても意見を聴取する」という事項にもとづき、平成17年12月6日に「関東地方整備局総合評価小委員会(以下、小委員会)」を開催し、延べ8回、標準型の61件の審議をおこなった。

小委員会及びフォローアップアンケートの主な意見は「表-3」のとおりである。

4. 平成18年度入札契約方式の運用方針

平成18年度は、一般競争を3億円から2億円に拡大し、17年度一部実施した通常指名競争入札は原則廃止(災害等除く)とし、小規模でも一般競争の積極的な試行又は工事希望型で実施する。「表-4」

■参考→新工事希望型競争入札

概ね2億円未満の工事について、10数社~20社程度に対して技術資料の提出を求め、入札条件の全てを満たすものすべてについて競争参加を認める「工事希望型競争入札」を導入し競争性の向上を図る。

総合評価については、平成18年4月19日の官房長通達「平成18年度における国土交通省直轄事業の入札及び契約に関する事務の執行について」の通達により、件数比5割超・金額比8割超を目標と定められたことから、関東地方整備局としては概ね1億円以上の全ての工事を対象として実施

することとした。

5. 平成18年度総合評価の主な改定

平成17年度実施した総合評価の状況、又小委員会、フォローアップアンケート「表-3参照」等から、平成18年度の実施に向けて加算点、評価項目等について見直しを行う事としている。「表-5」

見直しのポイントとしては、技術提案の評価アップとして加算点を簡易型10点を20点、標準型20点を30点に評価アップし、技術提案部分のウエートを高めている。

又、評価項目毎の評価点の見直しとして、工事成績は過去2年間の平均点が80点以上の場合には配点を4点としていたが、見直し案では10点とし優秀な企業については高い評価に改定することとしている。

一方、不誠実な行為で文章注意を受けた場合は、現行では-2点の減点であったが、

表-5 平成18年度総合評価の主な見直し

- 1) 技術提案の評価アップ
 - 簡易型の引き上げ(簡易型10点→20点、標準型10~18点を標準)
 - 新工種別の評価点の引き上げ(簡易型18点→20点)
- 2) 評価項目毎の評価点の見直し等
 - 工事実績(完工率): 文書発表-2点→4点、口頭発表-4点→4点
 - 地域貢献(社会貢献): 直轄1点、標準型2点、若狭1点
 - 職員の確保(若狭): 直轄1点、標準型2点、若狭1点
 - 職員の確保(若狭): 直轄1点、標準型2点、若狭1点
- 3) 評価項目の追加・削除
 - 社会貢献取得状況: 項目無し→満点項目1点
 - 職員の確保(CPD): 取得状況: 項目無し→満点項目1点
- 4) 評価項目の変更
 - 技術提案(技術力): 標準型必須、簡易型型別一斉て選択
- 5) 設置予定技術官やセーリングの試行の拡大と欠格要件の明確化

今回の見直しでは－8点の減点としメリハリのある評価に改訂する方向としている。

6. 終わりに

総合評価方式の活用により、優秀な民間技術力（技術提案）を最大限に引き出し評価・活用することにより、公共工事の品質確保の推進が図られることが、目的の一つであり、我々発注者には、その技術提案を的確に審査・評価する技術力を確保していくことが必要不可欠であるとともに、その評価には多分に客観的かつ主観的な判断が求められると考えています。

今後の総合評価方式の普及拡大に向けては、公共工事の発注件数が多い「地方自治体」がどう取り組んでいくかが課題となっています。

関東地方整備局としても、地方自治体の参考となるよう「より簡易な簡易型総合評価方式」を小規模な工事で直轄がモデル的に試行し、関係都県と連携のもとに総合評価の普及に努めて行きたいと考えております。「表－6」

まずは、全ての発注者の皆様が発注者としての責務を果たすことを目指して、着実に取り組んでいただきたいと思います。

表－6 「より簡易な簡易型総合評価方式」の試行

（より簡易な簡易型の試行）新たな総合評価方式の提案 ・地方自治体（主に市町村）では、総合評価方式への取り組みが不十分であり、直轄で取り組み可能なシステムの構築及び試行を実施					
より簡易な簡易型総合評価方式における評価項目ごとの採点配分(案)(一般土木)					
項目	項目	評価内容	採点配分	必須項目	選択項目
			採点配分(満点)	採点配分	採点配分
①企業の技術力	新工計画(簡易型)	工程管理に係わる技術的提案	◎	◎	◎
		材料の品質管理に係わる技術的提案			
		施工上の課題に対する技術的提案			
		施工上配慮すべき事項			
	安全管理に留意すべき事項	◎	◎	◎	
企業の施工能力	工期管理	◎	◎	◎	◎
	品質管理	◎	◎	◎	◎
	事故予防対策	◎	◎	◎	◎
②企業の信頼性、社会的	地域貢献度	◎	◎	◎	◎
	地域貢献度	◎	◎	◎	◎
評価項目数			8	3	7

凡例 ◎:必須項目 ○:選択項目